

GFLプログラム



グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラム

群馬大学では、国内外において主体的に活動できるグローバルフロンティアリーダーの育成に力を入れています。この一環として「グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラム」を設置して、平成25年度から医学部と理工学部が連携する「医理工グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース」を、平成27年度から教育学部と社会情報学部が連携する「教育・社情グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース」を実施しています。

GFLプログラム

教育・社情GFLコース

教育学部8名・社会情報学部10名

連携



医理工GFLコース

医学部8名・理工学部16名

グローバル交流セミナー・サマーセミナー

全学部のGFL1～2年生が集結して合宿研修を行います。群馬の大自然に囲まれながら、学部や学年を超えて、GFL生同士の交流を深めることができます。

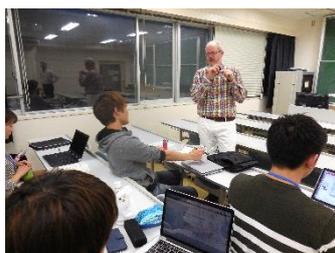
また、外国人留学生や大学院生を招いて、英語での講演を聴いたり、英語で交流するなど、英会話コミュニケーション力を養う機会も用意されています。



外国人教員による特別プログラム

外国人教員より英語スキル向上を目的としたGFL生限定の特別英語講義を受けることができます。

英語スキル・英会話コミュニケーション力の向上だけに留まらず、グループワークなどによるプレゼンテーションスキルの向上や幅広い国際的視野を養います。



トップリーダー講演会 / 先端研究紹介講座

全学部のGFL1年生が企画・実施する特別講演会です。

トップリーダー講演会では、各界で活躍されているリーダーをお招きし、リーダーに求められる素養、技術、心構えなどを講演いただきます。

先端研究紹介講座では、学内外の講師による講演会を通して、その分野の研究に触れるとともに、研究への取り組み姿勢を養います。



短期留学

GFL生限定のオーストラリア短期留学プログラムを用意しています。平成26年度から累計で57名が参加しました。

英語クラス受講による英語スキル・英会話コミュニケーション力の向上は勿論のこと、GFL生のためだけのスペシャルプログラムを用意しており、現地大学の研究所・研究施設見学、小学校訪問・ボランティア、報道スタジオ見学など、多岐にわたる学習プログラムとなっています。

また、この短期留学プログラムでは、特別に大学から費用援助が予定されています。



その他にも・・・

- ◆ 教育・社情GFLコースでは、通常授業科目の中からいくつか選択必修の授業が課せられます。その中で、GFL生限定として他学部の科目（教育学部GFL生ならば社会情報学部の、社会情報学部の学生なら教育学部の科目）を履修することもできます。
- ◆ 医理工GFLコースでは、企業や研究所などを訪問する「企業訪問&先輩ゼミ」、医学部・理工学部の教員による学部クロスの特別講演会「先端研究学際講演会」なども実施します。
- ◆ 医学科では「海外医療者・研究者交流」、保健学科では「チーム医療教育推進学生組織（SIPEC）」、「国際保健推進プログラム」、「海外協定校との交換留学」などの独自の活動プログラムを用意しています。
- ◆ 理工学部では、2年次に研究室見学や研究室仮配属・研究テーマ探索を行う「研究テーマポータル講座」、通常より早く3年次から研究室に所属して研究活動を始める「早期研究室配属」など、独自の活動プログラムを用意しています。

GFLプログラムの特色

- GFL生だけが自由に利用できる自習室「**GFL室**」を荒牧キャンパス・桐生キャンパスに用意しています。
- GFLプログラムにおける活動のほか、学業や大学生活等も含め、**関係教員・事務がGFL生の相談に対応しサポートしていく体制**が整っています。
- **GFL生の企画する自主活動を支援**しています。企画から実施まで学生たちの手で完遂できるよう、関係教員・事務がサポート役に回り、適宜アドバイスなどをしていきます。
- 意欲的にGFL活動に取り組む**優秀なGFL生を対象に後期の授業料を免除**します。対象者は厳正に審査を行い決定します。
- GFL企画の留学プログラムに参加するGFL生に対して、**留学費用を支援するため奨励金を支給**しています（返済不要）。金額はプログラムによって異なりますが、経済的な負担を少しでも軽減することを目的としています。
- 全てのGFLプログラムに取り組んできた証として、卒業時に「**GFL修了証**」を授与します。また、理工学部では優秀な活動成績を収めたGFL生に対して「**GFL奨励賞**」を授与しています。

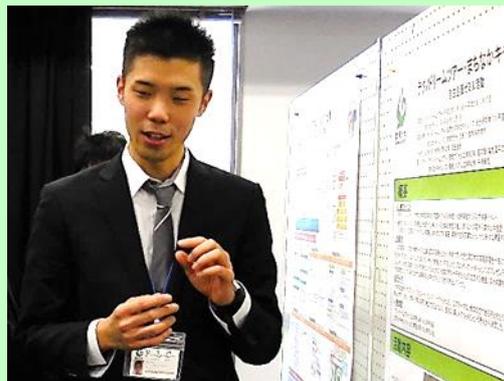
MESSAGE

やる気の使い道

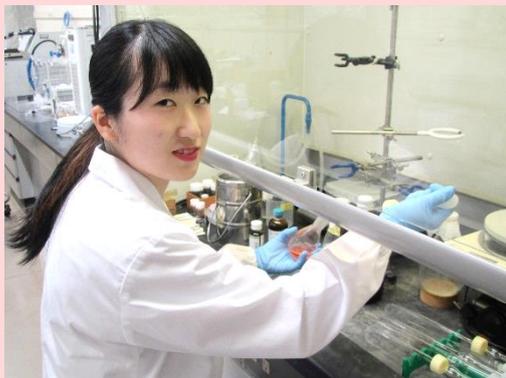
GFLは留学や早期配属など様々な機会に恵まれています。また、勉学という形で他分野の学生と交流でき、彼らと自主活動を行えるのも貴重な機会の一つです。

私は自主活動として、モデルロケット、ETロボコン、ITカンファレンスの運営等を行いました。どれも自分たちだけで行うには大変な活動です。しかし、GFLには支援してくれるシステムがあり、知恵を貸してくれる教職員がおり、協力してくれる仲間がいます。それらのおかげで、大変でもやりきることができ、良い経験になりました。

GFLは機会に恵まれています。機会を自ら動いてこそ、その恩恵を最大限得ることができます。もし、行き場のない“やる気”を持っているのなら、群馬大学に来てGFLに入り、ここで使ってみてはどうでしょうか。



工学部情報工学科 平成27年度 卒業
松原 信忠 (岐阜県立狭山高等学校出身)



理工学部化学・生物化学科 平成27年度 卒業
柳 瑠美 (群馬県立沼田女子高等学校出身)

一歩先へ

私は自分に自信を持つべく、大学では様々なことに挑戦し自分の強みを見つけたいと考えていました。そんな時、早期研究室配属や特別講義など多くのことに挑戦できるGFLの存在を知り、まさに今自分が求めているものだと感じて参加を希望しました。

実際には、研究活動を通して専門知識や自ら疑問を持ち学習する習慣が身に付きました。また、留学や海外研究者等との交流に積極的に取り組むことで視野が広がるとともに、英語への抵抗もなくなりコミュニケーション力が向上しました。さらに、GFL行事のリーダーを務めることにより企画運営能力を養うことができました。

GFLはやる気のある学生がステップアップできる多くの機会を与えてくれます。一歩先に進みたい人は、ぜひ挑戦してみましよう。

教育・社情GFLコース / 医理工GFLコースに入るには…

入学前

入学後

6月
下旬

6~7月

7~8月

9月
下旬

基礎学力の向上に努めてください。グローバルという視点から英語学習への取り組みも推奨します。

新入生に対してGFL生募集の案内を開始します。

GFL募集ガイダンスを行います。興味のある学生や応募希望学生は必ず参加してください。

応募締切の予定です。コースによって時期が異なります。

選考審査を行います。選考方法は各学部・学科で異なります。選考に関する連絡などよく確認してください。

合格発表の予定です。発表後、すぐにGFL活動開始となります。

あなたも群馬大学GFLで、
世界を牽引するリーダーを目指してみませんか？

問合わせ先

質問などあれば、どうぞお気軽にお問合わせください

群馬大学GFL担当 E-mail : gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp TEL : 027-220-7132 (荒牧キャンパス)



GFL Program Activities

～ これまでのGFL活動 ～

グローバル交流セミナー・サマーセミナー



▲ 昼食時のBBQの様子

▲ 集合写真

◀ 大学院保健学研究科博士前期課程1年 Yanjinsuren Batbayar さんによる「若手研究者講演会」の様子

各種ガイダンスや打ち合わせを行うとともに、外国人留学生や大学院生などによる英語での講演を聴講したり、GFL生による留学体験記発表を実施しています。その他、交流の時間には、真面目な話だけではなくスポーツ交流などを通して親睦を深めています。

外国人教員による特別プログラム



外国人教員による特別講義の様子

GFL生を対象とした英語の特別講義を開講し、外国人教員が直接指導を行います。ネイティブスピーカーの話す英語を聞いたり、自らの考えや意見を英語にして伝えるグループワーク内容が多く盛り込まれているので、英語スキル・英会話コミュニケーション力の向上だけではなく、プレゼンテーション力向上や幅広い国際的視野を養うことにも繋がる講義となっています。

トップリーダー講演会



群馬大学医学部附属病院長
田村 遵一 教授
題目「リーダーの条件～危機における対応～」
(平成27年1月13日)



東京都北区議会議員
斉藤 りえ氏
題目「いま、あなたの隣にいる人を大切に」
(平成28年12月21日)

PICK UP !! どんな講演が行われるの？

講演タイトル	講師
これから望まれるリーダー像	前橋商工会議所 会頭 曾我 孝之 氏
「心を届ける」新聞づくり	(株)上毛新聞社 相談役 高橋 康三 氏
私の「考えるヒント」	(株)群馬銀行 代表取締役会長 四方 浩 氏
リーダーを探して～シェイクスピア今昔物語～	群馬大学副学長 末松 美知子 氏
金融経済から見た日本と世界の動き	(株)群馬銀行 代表取締役取頭 齋藤 一雄 氏
リーダーの条件～危機における対応～	群馬大学医学部附属病院長 田村 遵一 氏
いま、あなたの隣にいる人を大切に	東京都 北区議会議員 斉藤 りえ 氏
世界遺産のつくりかた	群馬県立女子大学 群馬学センター 教授 松浦 利隆 氏

講師の所属などは実施当時のものです。

各界で活躍されているリーダーをお招きして、リーダーの求められる素養、技術、心構えなどについて講演いただきます。

先端研究紹介講座



特定非営利活動法人人口シナンテス 理事長
川原 尚行 氏
題目「アフリカ・スーダンでの地域医療における保健システム構築への挑戦」
(平成28年11月9日)



東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
磯貝 明 氏
題目「セルロースナノファイバー～新規バイオ系ナノ材料の基礎と応用展開～」
(平成28年11月30日)

GFL1年生の企画で、企業や研究所、他大学などで先端研究に取り組んでいる研究者を外部講師としてお招きし、研究の初歩から現状、今後の展望などを講演いただきます。自身の専攻する分野だけではなく幅広い分野の第一人者から講話をいただくことで、新しい発見や関心を持つことができる機会となります。

PICK UP !! どんな講演が行われるの？

担当学科	講演タイトル	講師
医学科	アジアでの医療を通して考える国際医療とは	特定非営利法人ジャパンハート 看護師 武内 三恵 氏
保健学科	アフリカ・スーダンでの地域医療における保健システム構築への挑戦	特定非営利活動法人人口シナンテス 理事長 川原 尚行 氏
化学・生物化学科	セルロースナノファイバー～新規バイオ系ナノ材料の基礎と応用展開～	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 磯貝 明 氏
機械知能システム理工学科	イプシロンロケット開発への挑戦	宇宙航空研究開発機構 (JAXA) イプシロンロケットプロジェクトチーム 井元 隆行 氏
環境創生理工学科	火山を透視する	東京大学地震研究所・高エネルギー素粒子地球物理学研究センター 教授 田中 宏幸 氏
電子情報理工学科	核融合エネルギー開発について	京都大学エネルギー理工学研究所エネルギー生成研究部門 准教授 笠田 竜太 氏

講師の所属などは実施当時のものです。

企業訪問 & 先輩ゼミ (医理工GFLコース企画)



(株)IHIエアロスペース
富岡事業所
(平成27年9月3日)



国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
那珂核融合研究所
(平成28年9月13日)

主に理数系の先輩が活躍している企業や研究機関などを訪問して、研究施設・設備を見学したり、先輩社員の方々と交流や意見交換などを行います。医学・理工分野の先端研究を学びながら将来のイメージを掴む機会とします。

PICK UP !! どんな企業・研究施設を訪問するの？

担当学科	訪問先
化学・生物化学科	大正製薬(株) 大宮工場 (さいたま市)
	(独)日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所 (高崎市)
	(株)資生堂リサーチセンター (横浜市)
機械知能システム理工学科	エーザイ(株)筑波研究所 (つくば市)
	ANA機体メンテナンスセンター (大田区)
	(独)宇宙航空研究開発機構JAXA調布航空宇宙センター (調布市)
	(独)海上技術安全研究所 (三鷹市)
環境創生理工学科	富士重工業(株)矢島工場 (太田市)
	鹿島建設(株)鹿島技術研究所西調布実験場 (調布市)
	東日本旅客鉄道株式会社 新潟駅・新潟駅高架化工事現場 (新潟市)
	J-POWER電源開発(株)磯子火力発電所 (横浜市)
電子情報理工学科	(公財)中央防波堤埋め立て処分場 (江東区)
	ルネサスエレクトロニクス(株) (高崎市)
	日立アロカメディカル(株)東京営業所 (青梅市)
	(株)日立製作所中央研究所 (国分寺市)
	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 (つくば市)

先端研究学際講演会



群馬大学大学院 理工学府
奥 浩之 准教授
▲ 題目「マラリアの基礎とワクチン開発の現状」
(平成27年1月7日)



群馬大学大学院保健学研究科
山路 雄彦 准教授
▲ 題目「生体工学における工学と医学との連携」
(平成27年12月21日)



群馬大学大学院医学系研究科
鯉淵 典之 教授
▲ 題目「内分泌かく乱化学物質の生体影響」
(平成28年12月7日)

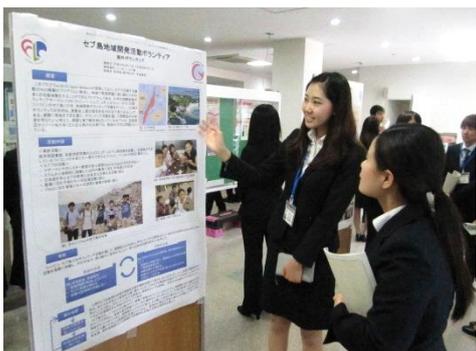
GFL生自身が関心のある研究分野の教員に講演を依頼し、医学部GFL生は理工学分野の、理工学部GFL生は医学分野の先端研究について学びます。医学部・理工学部の双方の研究分野について理解を深めながら、医理工連携の意味や重要性について考察する機会とします。

PICK UP !! どんな講演が行われるの？

講演タイトル	講師
神経変性疾患の先端的治療法	群馬大学大学院医学系研究科脳神経病態制御学講座・脳神経再生医学分野 教授 平井 宏和 氏
マラリアの基礎とワクチン開発の現状	群馬大学大学院理工学府分子化学部門 准教授 奥 浩之 氏
生体工学における工学と医学の連携	群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学 准教授 山路 雄彦 氏
ヒトを対象とした神経科学研究の最前線	群馬大学大学院保健学研究科看護学 講師 豊村 暁 氏
分子の発光を使って生体を探る～生体内の酸素の動きと低酸素疾患の検出～	群馬大学大学院理工学府分子科学部門 教授 飛田 成史 氏
内分泌かく乱化学物質の生体影響	群馬大学大学院医学系研究科器官機能制御学講座・応用生理学分野 教授 鯉淵 典之 氏
マラリアの基礎とワクチン	群馬大学大学院理工学府分子化学部門 准教授 奥 浩之 氏

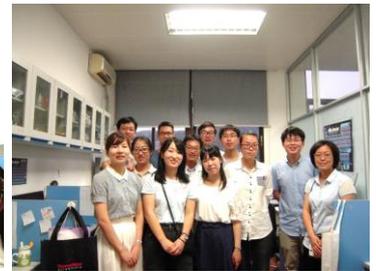
講師の所属などは実施当時のものです。

成果報告会



GFLでの活動を報告する場として「成果報告会」を開催します。教員から概要を説明するとともに、GFL生から口頭発表・ポスター発表形式でGFLの各種プログラムや海外留学について詳細に報告します。

海外留学



▲ (上) オーストラリア・マッコーリー大学英語学校での英語クラス講義の様子

◀ (左) オーストラリア・ディーキン大学での集合写真

▶ (右上) 中国・廈門大学でお世話になった研究室の方々と

▶ (右下) 中国・瀋陽市内の北方重工集団有限公司(国営企業)を視察



GFL生は原則として海外留学(短期・中期・長期)や海外語学研修、国際ボランティアなどに参加することが求められています。実際に現地で活動しながら、その国の文化や慣習、社会、経済、歴史などを学ぶことで、国際的教養や広い視野を涵養します。

プログラム内容に決まりはなく、自身に一番適しているものを選んで参加します。

GFL企画の留学プログラムも用意しており、語学学習だけではなく、現地の先端研究を学んだり、実践的なワークショップに取り組むなど、多彩な内容のオリジナルプログラムとなっています。

PICK UP !!

どんな留学プログラムがあるの？

GFL限定企画の留学プログラム(実績)

年度	プログラム名	訪問先
平成22年度	中国研修	中国・大連理工大学
平成23年度	韓国研修	韓国・ソウル科学技術大学校
平成24年度	中国研修	中国・瀋陽化工大学
平成25年度	中国研修	中国・大連工業大学
平成26年度	GFLマッコーリー大学短期留学プログラム	オーストラリア・マッコーリー大学
平成27年度	GFL廈門大学短期留学プログラム(理工学部限定)	中国・廈門大学
	GFL大連工業大学短期留学プログラム(理工学部限定)	中国・大連工業大学
	GFLマッコーリー大学短期留学プログラム	オーストラリア・マッコーリー大学
平成28年度	GFLディーキン大学短期留学プログラム	オーストラリア・ディーキン大学
	GFL大連工業大学短期留学プログラム(理工学部限定)	中国・大連工業大学

GFL生が参加した留学プログラム訪問先

訪問先および留学プログラム種類など
イギリス・University College London (トビタテ!留学JAPAN)
イギリス・キール大学(群馬大学 英語研修プログラム)
オーストラリア・ウーロンゴン大学(群馬大学 英語研修プログラム)
オーストラリア・マッコーリー大学(群馬大学 英語研修プログラム)
アメリカ・サンディエゴ州立大学(群馬大学 英語研修プログラム)
マレーシア・マラ技術大学(群馬大学 英語研修プログラム)
タイ・泰日工業大学(群馬大学 異文化理解プログラム)
アメリカ・ミズーリ州立大学(群馬大学 インターンシッププログラム)
モンゴル・モンゴル国立医科学大学(群馬大学 国際看護研修)
タイ・モンクット王工科大学(群馬大学 研修プログラム)
ベトナム・ミツバベトナムテクニカルセンター(群馬大学 国際インターンシップ)
フランス・ブルゴーニュ大学(語学研修)
アメリカ・スタンフォード大学(MED医療系留学プログラム)
カナダ・マギル大学(医療英語研修)
インドネシア・ジャカルタほか(国際看護研究会スタディツアー)
中国・北京大学(Global Health Education Program 2017)
タイ・メータオ・クリニックほか(NPO法人メータオ・クリニック支援の会主催スタディツアー)
カンボジア・JICAカンボジア事務所ほか(JICA国際協力フィールドスタディプログラム)
ベトナム・ベトナム赤十字社ほか(日本赤十字社ベトナム赤十字社訪問事業)
アイスランド・レイキャビク/フランス・ラヴィル/ニュージーランド・オークランド/ベトナム・ホーチミン(CIEE国際ボランティアプロジェクト)
カンボジア・JICAカンボジア事務所ほか(JICA国際協力フィールドスタディプログラム)
ベトナム・ベトナム赤十字社ほか(日本赤十字社ベトナム赤十字社訪問事業)
アイスランド・レイキャビク(CIEE国際ボランティアプロジェクト)
フランス・ラヴィル(CIEE国際ボランティアプロジェクト)
フィリピン・セブ島(CEC Japan Network主催国際ボランティア)
ベトナム・ハノイほか(国際NGO NICE主催ベトナムワークキャンプ)

トビタテ!留学JAPANとは

文部科学省初の官民協働プロジェクトによる留学支援
手厚い奨学金(返済不要)と事前・事後の充実した研修が特徴

昨年度、このトビタテ!留学JAPANの**世界トップレベル大学等コース**に採用されてGFL生(医学部)1名がイギリス・University College Londonに2ヶ月間滞在し、新興感染症を中心に医療分野について学んできました。

